

越前松平家の名品 13

「一橋徳川家と将軍慶喜にまつわる品々」

- 会場 松平家史料展示室
- 会期 平成24年5月10日(木) ~7月1日(日)
- 休館日 6月18日(月)、19日(火)

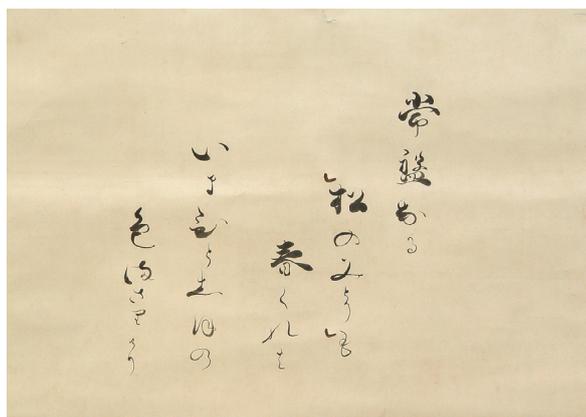
越前松平家に伝来する、一橋徳川家にまつわる美術工芸品や書、資料等を人物ごとに展示する。昨秋に開催した秋季特別展「御三卿 一橋徳川家と田安徳川家」では展示しきれなかった品々を、引き続き紹介する。

一橋徳川家とは8代将軍徳川吉宗の子どもらによって設けられた徳川将軍家の親族「徳川御三卿」のひとつである。越前松平家には一橋家初代宗尹の子の重昌と重富が養子に迎えられて、それぞれ11代、12代福井藩主となった。また、御三卿のうち唯一将軍を輩出しているのが一橋家であり、11代将軍家斉と、徳川幕府最後の将軍、慶喜が同家の出身である。

主な人物解説

徳川(一橋) 治済
(1751 ~ 1827)

はるさだ 宝暦元年(1751)に、一橋徳川家初代宗尹の4男として生まれる。宗尹の長男と3男が越前松平家の養子となったため(次男は幼くして死去)、家督を継ぎ一橋家2代当主となった。また、治済の長男家斉が徳川将軍家へ入り11代将軍となったことから、次男家斉に当主を譲り隠居してからも、幕政や家政に関わって影響力を持った。一橋家の屋敷には治済の時代に能舞台が出来ており、稽古に熱心だったという能楽好きの一面も知られる。



徳川(一橋) 治済筆「ときわなる云々」の和歌



赤地龍熊文様錦小袴

松平 重昌
(1743 ~ 58)

しげ まさ 10代福井藩主宗矩には世子(跡継ぎの子)がなく、将軍に近い血筋から養子を迎えたいと考えていた。その後宿願は叶い、延享4年(1747)に一橋徳川家の世子小五郎の養子入りが決った。同年小五郎は於義丸と改名し、福井藩江戸屋敷に移った。寛延2年(1749)宗矩の死去によって11代藩主に就いた於義丸は、宝暦5年(1755)に元服し、将軍家重より一字を賜って重昌と称すると共に、従四位上、左近衛権少将兼越前守に叙任された。しかし、重昌は一度も福井の地を踏むことなく、宝暦8年に16歳の若さで死去した。

松平 重富
(1748 ~ 1809)

しげ とみ 仙之助(後の重富)は、寛延元年(1748)に徳川宗尹の3男として一橋徳川家で生まれた。ところが宝暦8年(1758)に11代福井藩主の兄重昌が病没したため、幕府はその弟で一橋家の世子であった仙之助に越前松平家の相続を命じた。2代続けて一橋家の跡継ぎが福井藩主となったのである。宝暦10年に元服した仙之助は、将軍家重より一字を賜って重富と称すると共に、従四位上、左近衛権少将兼越前守に叙任された。その後、天明7年(1787)には左近衛権中将に任じられ、寛政10年(1798)には正四位下に昇進した。重富の治世は41年の長きに及んだが、その間領内では、明和5年(1768)に大規模な百姓一揆が発生し、天明期(1781~89)には凶作が頻発するなど、藩の運営に苦慮する時期もあった。

徳川慶喜

徳川慶喜は、天保8年（1837）年に水戸藩主徳川斉昭の7男として江戸で誕生し、弘化4年（1847）に一橋徳川家を相続した。英明との評判が高く、福井藩主松平慶永（春嶽）ら一橋派大名から将軍家定の後継に擁立されたが、大老井伊直弼らの政治的弾圧（安政の大獄）によって、安政6年（1859）隠居・謹慎に処せられた。文久2年（1862）、幕命で一橋家を再相続、将軍後見職に任命され、政事総裁職に任じられた春嶽と共に幕府の改革や公武合体を推し進めた。慶応2年（1866）に将軍家茂が亡くなり、徳川宗家を継いで15代将軍に就任したが、同3年には大政奉還を行った。翌年正月、鳥羽・伏見の戦いで敗北し江戸へ退去。朝廷に対して恭順を示し、静岡に移住した。明治30年（1897）に東京へ移住し、同35年公爵となった。大正2年（1913）に77歳で死去している。



洋式軍装馬具

展示資料一覧

No.	資料名称	員数	備考	所蔵者
1	御当家系図	1巻		越葵文庫（当館保管）
2	徳川（一橋）治済筆「ときわなる云々」の和歌	1幅		福井市春嶽公記念文庫
3	松平重昌筆「花明五嶺春」の書	1幅		越葵文庫（当館保管）
4	浅葱色麻地具足下着	1領		越葵文庫（当館保管）
5	赤地龍熊文様錦小袴	1具		越葵文庫（当館保管）
6	松平重富礼状	1通		福井市春嶽公記念文庫
7	金機織虫図目貫	1組		福井市春嶽公記念文庫
8	徳川慶喜書状	1巻	文久2年	福井市春嶽公記念文庫
9	徳川慶喜書状	1巻	慶応元年	越葵文庫（当館保管）
10	四老公肖像写真衝立	1点	複製	福井市春嶽公記念文庫
11	洋式軍装馬具	1具		福井市春嶽公記念文庫
12	松平春嶽書状	1巻	慶応3年	越葵文庫（当館保管）
13	白地梅枝模様扇子	1握		福井市春嶽公記念文庫
14	白地菊模様扇子	1握		福井市春嶽公記念文庫
15	銀製煙管	1点		福井市春嶽公記念文庫
16	徳川慶喜筆「長生不老仙」の書	1幅		福井市春嶽公記念文庫
17	徳川慶喜筆「日之出梅」の図	1幅		福井市春嶽公記念文庫
18	徳川慶喜筆「わするなよ都の空を云々」の和歌	1幅		福井市春嶽公記念文庫
19	徳川慶喜筆「西洋雪景図」	1面		福井市春嶽公記念文庫
20	松平治好筆「松下問童子」の書	1幅		越葵文庫（当館保管）
21	徳川家慶筆「牡丹図」	1幅		福井市春嶽公記念文庫
22	白地梅枝模様扇子	1握		福井市春嶽公記念文庫
23	オルゴール付枕時計	1点		福井市春嶽公記念文庫
24	松栄院遺品類	一括		福井市春嶽公記念文庫
25	金獅子図目貫	1組		福井市春嶽公記念文庫
26	濃花色地葵紋付霞小紋長袴	1領		越葵文庫（当館保管）

※都合により展示品が変更になる場合があります。

次回の展示

〈松平家史料展示室〉

特別陳列「橘曙覧とその周辺」

7月4日(水)～9月2日(日)

松平家史料展示室 展示解説シート No.66
平成24年5月10日発行

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3丁目12-1
電話 (0776)21-0489 FAX(0776)21-1489
担当 印牧信明、高瀬裕美

印刷 宮本印刷